

## 視覚障害者が過ごしやすい町へ

### 調べたきっかけ

4年生のころに耳が不自由な人について調べて、5年生になった今、目の不自由な人は、どうしているのか気になったので調べました。

### 調べ方

本やインターネットで調べました。

### 調べて分かったこと

#### ・点字ブロック

点字ブロックは、正式名称「視覚障害者誘導用ブロック」といいます。点字は、1825年にパリの盲学校の生徒のルイ・ブライエが考えだした。点字ブロックには、動く方向をしめす緑ブロックと、注意する場所を教える「点ブロック」がある。「まちのバリアフリー」によると、点字ブロックは、辺30cmと定められているそうです。

#### ・視覚障害の種類(見え方)

視覚障害者の見え方には種類があり、見えるはんいかせまかったり、視野の一部が欠けている、視界がゆがんで見えるなど、さまざまな見え方がある。また、しょうじょうにより、見えにくさはことなる。

#### ・身近な工夫

目が見えにくくても読みやすい「拡大教科書」がある。拡大教科書は、文字や図などが大きいため、ふつふつの教科書よりもページ数が多い。他に、

4年生の廊下に貼ってありました。「視覚障害者が過ごしやすい町へ」。拡大教科書についても分かったようです。